



## 平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 オプテックス株式会社

コード番号 6914 URL <http://www.optex.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼代表取締役社長 (氏名) 小林 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長 (氏名) 東 晃

TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	15,302	9.4	913	△36.5	1,042	△32.3	466	△47.8
23年12月期第3四半期	13,993	9.9	1,438	15.6	1,540	22.9	892	33.9

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 687百万円 (△10.1%) 23年12月期第3四半期 764百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	28.17	28.16
23年12月期第3四半期	53.94	53.92

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	22,701	18,446	76.1
23年12月期	21,889	18,304	78.3

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 17,268百万円 23年12月期 17,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年12月期	—	15.00	—		
24年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	17.8	1,700	1.4	1,850	1.1	1,020	△1.3	61.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	16,984,596 株	23年12月期	16,984,596 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	433,202 株	23年12月期	433,022 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	16,551,451 株	23年12月期3Q	16,551,739 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、米国では緩やかな景気回復が見られたものの、深刻化する欧州の財政危機問題が新興国の成長にも波及し、中国を中心に内需の弱含みや輸出の鈍化など、景気後退の懸念が高まりました。一方、国内における経済情勢は、個人消費の伸びや東日本大震災からの復興に向けた公共投資の増加などにより緩やかに拡大いたしました。欧州債務問題の影響や為替の変動リスクなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、米ドルや欧州通貨に対しては厳しい円高水準が続き、当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルは前年同期の80.7円に比べ1.3円（1.6%）円高の79.4円、対ユーロでは同113.4円に比べ11.6円（10.2%）円高の101.8円、対ポンドでは同130.2円に比べ5.0円（3.8%）円高の125.2円となりました。

このような状況の下、当社グループは新製品の開発と投入による「コア事業の持続的成長」、「新興市場の開拓」、大型施設を中心とする「新規アプリケーションの開拓」など、事業活動を強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、153億2百万円（前年同期比9.4%増）となりました。一方、営業利益は9億13百万円（前年同期比36.5%減）、経常利益は10億42百万円（前年同期比32.3%減）、四半期純利益につきましては、4億66百万円（前年同期比47.8%減）となりました。減益となりました主な要因は、販売地域や製品の構成比率が変化したことにより原価率が上昇したこと、人材面・開発面において積極的な投資を実施したことによるものであります。

セグメント別の実績は、次のとおりであります。

#### ① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高102億44百万円（前年同期比14.3%増）営業利益5億81百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高72億79百万円（前年同期比19.6%増）となりました。海外におきましては、長引く欧州市場の景気低迷と厳しい円高により輸出に影響を受けたものの、英国RAYTEC LIMITEDの業績が堅調なことに加え、米国FIBER SENSYS INC.の業績も主に北米で好調に推移し前年同期実績を上回りました。国内におきましては、引き続き警備会社向け販売実績や大型重要施設向け屋外センサの受注が好調に推移し、前年同期実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、国内の建築需要が徐々に回復し、自動ドアの設置台数の堅調な伸びに伴い、自動ドアセンサの販売が好調に推移しました。海外におきましては、欧米の大手自動ドアメーカーから自動ドアセンサの安全性と信頼性を高く評価され、新規採用が順調に推移したことにより、売上高25億73百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

#### ② F A事業

F A事業は、海外におきましては、欧州での金融不安の影響や中国における液晶関連等の設備投資抑制の影響を受け、需要は低迷いたしました。また、国内におきましても工作機械、自動車関連業界で設備投資需要の持ち直しはあるものの、電子部品、半導体、液晶関連などの設備投資需要は低調に推移いたしました。この結果、売上高32億95百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益2億31百万円（前年同期比43.4%減）となりました。

#### ③ 生産受託事業

中国における生産受託事業は、円高の影響を受けたものの受託製品数量が増加し、売上高は7億71百万円（前年同期比67.9%増）、営業利益92百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は227億1百万円となり、前連結会計年度末と比べ8億12百万円増加しました。これは主に子会社株式取得による現金及び預金の減少等により流動資産が83百万円減少したものの、子会社株式取得に伴うのれんの増加等により無形固定資産が6億87百万円、投資有価証券の増加等により投資その他の資産が2億88百万円それぞれ増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は42億54百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億70百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加等により流動負債が6億10百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は184億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億41百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が1億55百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成24年7月25日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,523	5,917
受取手形及び売掛金	3,803	4,176
有価証券	1,078	1,002
商品及び製品	1,721	1,820
仕掛品	82	76
原材料及び貯蔵品	877	1,035
繰延税金資産	408	437
その他	591	547
貸倒引当金	△20	△30
流動資産合計	15,066	14,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,191	1,142
機械装置及び運搬具（純額）	205	281
工具、器具及び備品（純額）	307	287
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	113	27
有形固定資産合計	3,022	2,942
無形固定資産		
のれん	102	785
その他	464	468
無形固定資産合計	567	1,254
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192	2,495
繰延税金資産	727	694
その他	361	377
貸倒引当金	△48	△46
投資その他の資産合計	3,232	3,520
固定資産合計	6,822	7,717
資産合計	21,889	22,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	788	1,044
短期借入金	194	425
未払法人税等	372	190
繰延税金負債	4	9
賞与引当金	68	218
役員賞与引当金	6	5
その他	817	968
流動負債合計	2,252	2,862
固定負債		
繰延税金負債	64	84
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	794	823
役員退職慰労引当金	450	462
その他	16	15
固定負債合計	1,331	1,391
負債合計	3,584	4,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	12,855	12,825
自己株式	△538	△538
株主資本合計	18,769	18,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67	△42
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△1,569	△1,438
その他の包括利益累計額合計	△1,625	△1,470
新株予約権	3	10
少数株主持分	1,157	1,168
純資産合計	18,304	18,446
負債純資産合計	21,889	22,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	13,993	15,302
売上原価	6,740	7,858
売上総利益	7,252	7,443
販売費及び一般管理費	5,814	6,530
営業利益	1,438	913
営業外収益		
受取利息	56	44
持分法による投資利益	19	7
為替差益	—	27
受取賃貸料	14	14
保険返戻金	57	29
その他	49	29
営業外収益合計	197	153
営業外費用		
支払利息	2	2
投資事業組合運用損	8	3
為替差損	64	—
賃貸費用	14	13
その他	5	3
営業外費用合計	94	23
経常利益	1,540	1,042
特別利益		
固定資産売却益	4	0
持分変動利益	0	—
投資有価証券売却益	0	5
特別利益合計	4	6
特別損失		
固定資産除却損	4	6
持分変動損失	—	0
投資有価証券評価損	18	—
のれん減損損失	—	41
特別損失合計	23	47
税金等調整前四半期純利益	1,521	1,001
法人税、住民税及び事業税	604	473
法人税等調整額	△71	5
法人税等合計	533	478
少数株主損益調整前四半期純利益	987	522
少数株主利益	94	56
四半期純利益	892	466



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	987	522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	33
為替換算調整勘定	△204	131
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△223	164
四半期包括利益	764	687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665	622
少数株主に係る四半期包括利益	98	65

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,966	3,544	459	12,969	1,023	13,993	—	13,993
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	—	2,154	2,172	34	2,207	△2,207	—
計	8,984	3,544	2,614	15,142	1,058	16,200	△2,207	13,993
セグメント利益	867	408	69	1,344	81	1,426	11	1,438

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額11百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	センシング 事業	F A事業	生産受託 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,244	3,295	771	14,311	990	15,302	—	15,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	1	2,152	2,170	69	2,239	△2,239	—
計	10,261	3,296	2,923	16,481	1,060	17,542	△2,239	15,302
セグメント利益	581	231	92	905	19	925	△12	913

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。